安全データシート

Copyright,2025, Solventum. All rights reserved. 本情報は、ソルベンタム社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）ソルベンタム社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	16-0386-9	**版**	2.02
発行日	2025/03/28	**前発行日**	2023/09/12

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
クリンプロ シーラント

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
歯科用製品

使用上の制限
歯科医療者による使用に限定

1.3. 会社情報

供給者	ソルベンタム合同会社
所在地	東京都品川区北品川６－７－２９
担当部門	デンタルソリューション事業部
電話番号	0120-332-329

2. 危険有害性の要約

GHS分類
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分２Ｂ
皮膚感作性： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符

ピクトグラム

危険有害性情報

H320	眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H402	水生生物に有害

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

急性毒性（経口）区分は試験データに基づいて実施し、この区分に該当しない。　急性毒性（皮膚）区分は試験データに基づいて実施し、この区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	1565-94-2	40 - 50
トリエチレングリコールジメタクリラート	109-16-0	40 - 50
表面処理したシリカ	68611-44-9	5.0 - 10
テトラブチルアンモニウム＝テトラフ	429-42-5	3.9

ルオロボレート		
ヘキサフルオロリン酸ジフェニルヨード	58109-40-3	＜ 1
トリフェニルアンチモン	603-36-1	0.33
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	＜ 0.3
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	0.27
ハイドロキノン	123-31-9	＜ 0.05

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
応急処置は不要。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、

顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
取り扱い時に直接触れない。皮膚に触れた場合には石鹸と水でよく洗う。含有するアクリレートは通常の手袋を透過する。本製品が手袋に触れた場合は手袋を廃棄し、直ちに手を石鹸で洗い、新しい手袋と交換する。　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　眼に入れない。　指定された個人保護具を使用する。

保管
特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
ハイドロキノン	123-31-9	ACGIH	TWA：1 mg/m3	A: 動物における発がん性あり、皮膚感作性あり
ハイドロキノン	123-31-9	ISHL(濃度基準値)	TWA（８時間）：1mg/m3	25℃1気圧空気中
ハイドロキノン	123-31-9	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じ	2B: ヒトに対して発が

			んとして)(8 時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8 時間):0.3 mg/m3;TWA (提案)(8 時間):0.3 mg/m3	ん性の可能性がある。
アンチモン化合物	603-36-1	ACGIH	TWA (アンチモンとして) : 0.5 mg/m3	
アンチモン化合物、スチビンを除く	603-36-1	JSOH OELs	TWA (アンチモンとして) (８時間) : 0.1 mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
よく換気されたエリアで使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具
皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具
特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	液体
色	透明黄色
臭い	やや甘い臭い’
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*データはない。*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*データはない。*

引火点	引火点>93℃
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	<=186,158.4 Pa［試験条件： 55 ºC ］
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	1.2 g/ml
比重	1.2 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	*データはない。*
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*適用しない*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*適用しない*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
知見はない。

混触危険物質
知見はない。

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
本品は特異臭を持つが、健康への影響は予想されない。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
中程度の眼の刺激：　発赤、腫脹、痛み、流涙、眼のかすみなどの症状。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激：　腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性
以下の健康影響の原因になるような暴露は、通常の用途では予想されない：
　　発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
製品全体	皮膚	類似健康有害性	LD50　入手できない
トリエチレングリコールジメタクリラート	皮膚	マウス	LD50 > 2,000
トリエチレングリコールジメタクリラート	経口摂取	ラット	LD50　10,837 mg/kg

ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 > 11,700 mg/kg
表面処理したシリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
表面処理したシリカ	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
表面処理したシリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
ヘキサフルオロリン酸ジフェニルヨード	経口摂取	ラット	LD50 32 mg/kg
トリフェニルアンチモン	吸入－粉塵/ミスト		LC50 推定値 1 - 5 mg/l
トリフェニルアンチモン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
トリフェニルアンチモン	経口摂取	ラット	LD50 82.5 mg/kg
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化チタン(Ⅳ)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(Ⅳ)	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(Ⅳ)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
ハイドロキノン	皮膚	ラット	LD50 > 4,800 mg/kg
ハイドロキノン	経口摂取	ラット	LD50 302 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トリエチレングリコールジメタクリラート	ウサギ	刺激性なし
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	ウサギ	刺激性なし
表面処理したシリカ	ウサギ	刺激性なし
ヘキサフルオロリン酸ジフェニルヨード	ウサギ	刺激性なし
トリフェニルアンチモン	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(Ⅳ)	ウサギ	刺激性なし
ハイドロキノン	ヒト及び動物	ごく僅かな刺激臭

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トリエチレングリコールジメタクリラート	ウサギ	刺激性なし
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	In vitro data	刺激性なし
表面処理したシリカ	ウサギ	刺激性なし
ヘキサフルオロリン酸ジフェニルヨード	ウサギ	軽度の刺激
トリフェニルアンチモン	ウサギ	軽度の刺激
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(Ⅳ)	ウサギ	刺激性なし
ハイドロキノン	ヒト	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果

トリエチレングリコールジメタクリラート	マウス	感作性あり
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	マウス	区分に該当しない。
表面処理したシリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル		区分に該当しない。
酸化チタン(Ⅳ)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ハイドロキノン	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
トリエチレングリコールジメタクリラート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	In vitro	変異原性なし
表面処理したシリカ	In vitro	変異原性なし
ヘキサフルオロリン酸ジフェニルヨード	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	In vivo	変異原性なし
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(Ⅳ)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(Ⅳ)	In vivo	変異原性なし
ハイドロキノン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ハイドロキノン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
トリエチレングリコールジメタクリラート	皮膚	マウス	発がん性なし
表面処理したシリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(Ⅳ)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(Ⅳ)	吸入した場合	ラット	発がん性
ハイドロキノン	皮膚	マウス	発がん性なし
ハイドロキノン	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トリエチレングリコールジメタクリラート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
トリエチレングリコールジメタクリラート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	5 週
トリエチレングリコールジメタクリラート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000	妊娠期間中

リシジルエーテル				mg/kg/日	
表面処理したシリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
表面処理したシリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
表面処理したシリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	授乳期早期交配
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 50 mg/kg/日	授乳期早期交配
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 50 mg/kg/日	53 日
ハイドロキノン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	2 世代
ハイドロキノン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	2 世代
ハイドロキノン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサフルオロリン酸ジフェニルヨード	吸入した場合	呼吸器への刺激	区分に該当しない。	入手できない	刺激 不安定。	
ハイドロキノン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
ハイドロキノン	経口摂取	神経系	臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 入手できない	適用しない。
ハイドロキノン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg	適用しない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トリエチレングリコールジメタクリラート	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 2,000 mg/kg/day	13 週
トリエチレングリコールジメタクリラート	皮膚	皮膚	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 100 mg/kg/day	13 週
トリエチレングリコールジメタクリラート	皮膚	消化管 ｜ 造血器系 ｜ 神経系 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 2,000 mg/kg/day	13 週
トリエチレングリコールジメタクリラート	経口摂取	造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 神経系 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3,849 mg/kg/day	13 週
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	経口摂取	内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 心臓 ｜ 皮膚 ｜ 消化管 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 免疫システム ｜ 筋肉 ｜ 神経系 ｜ 眼 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 呼吸器系 ｜ 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
表面処理したシリカ	吸入した場合	呼吸器系 ｜ 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	経口摂取	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 74 mg/kg/day	28 日
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	経口摂取	肝臓 ｜ 心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 消化管 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 免疫システム ｜ 筋肉 ｜ 神経系 ｜ 眼 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 呼吸器系 ｜ 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	28 日
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ハイドロキノン	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	40 日
ハイドロキノン	経口摂取	骨髄 ｜ 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	9 週
ハイドロキノン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 50 mg/kg/day	15 月
ハイドロキノン	眼	眼	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリ	1565-94-2	鯉	類似コンパウンド	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られな	>100 mg/l

シジルエーテル					い	
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	1565-94-2	緑藻類	エンドポイントに達しない。	96 時間	EC50	>100 mg/l
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	1565-94-2	緑藻類	実験	96 時間	EC10	1.1 mg/l
トリエチレングリコールジメタクリラート	109-16-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>100 mg/l
トリエチレングリコールジメタクリラート	109-16-0	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	16.4 mg/l
トリエチレングリコールジメタクリラート	109-16-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	18.6 mg/l
トリエチレングリコールジメタクリラート	109-16-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	32 mg/l
表面処理したシリカ	68611-44-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ヘキサフルオロリン酸ジフェニルヨード	58109-40-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	9.5 mg/l
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	液状化	実験	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	緑藻類	実験	72 時間	EL50	2.8 mg/l
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	ニジマス	実験	96 時間	LC50	1.9 mg/l
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	4.5 mg/l
４－ジメチル	10287-53-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.71 mg/l

アミノ安息香酸エチル						
ハイドロキノン	123-31-9	液状化	実験	2 時間	IC50	71 mg/l
ハイドロキノン	123-31-9	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.053 mg/l
ハイドロキノン	123-31-9	ニジマス	実験	96 時間	LC50	0.044 mg/l
ハイドロキノン	123-31-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.061 mg/l
ハイドロキノン	123-31-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	32 日	NOEC	>=0.066 mg/l
ハイドロキノン	123-31-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.0015 mg/l
ハイドロキノン	123-31-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.0029 mg/l
テトラブチルアンモニウム＝テトラフルオロボレート	429-42-5	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン(IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
トリフェニルアンチモン	603-36-1	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	1565-94-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	21 %BOD/ThOD	OECD 301F類似法
ジメタクリル	1565-94-2	実験 加水分		加水分解性半	29 日（t	

酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル		解		減期（pH7）	1/2)	
トリエチレングリコールジメタクリラート	109-16-0	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	85 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
表面処理したシリカ	68611-44-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ヘキサフルオロリン酸ジフェニルヨード	58109-40-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	40 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	実験 加水分解		加水分解性半減期（pH7）	>1 年（t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
ハイドロキノン	123-31-9	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	70 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
テトラブチルアンモニウム＝テトラフルオロボレート	429-42-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トリフェニルアンチモン	603-36-1	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	<20 %BOD/ThOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ジメタクリル酸ビスフェノールＡジグリシジルエーテル	1565-94-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	4.63	
トリエチレングリコールジメタクリラート	109-16-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	2.3	EC A.8 分配係数
表面処理したシリカ	68611-44-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

ヘキサフルオロリン酸ジフェニルヨード	58109-40-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
４－ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	3.2	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
ハイドロキノン	123-31-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	0.59	
テトラブチルアンモニウム＝テトラフルオロボレート	429-42-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	
トリフェニルアンチモン	603-36-1	推定値 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	6.02	EPI suite™

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。　取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

医薬品および医薬部外品はPDSCL（毒物及び劇物取締法）の適用外です。
労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；本SDSのGHS分類により適用
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
化管法：第１種指定化学物質
消防法：指定可燃物（可燃性液体類）

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
表面処理したシリカ	シリカ	該当	該当	該当
酸化チタン(Ⅳ)	酸化チタン(Ⅳ)	該当	該当	該当
トリフェニルアンチモン	アンチモ及びその化合物（三酸化二アンチモンを除く。）	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
テトラブチルアンモニウム＝テトラフルオロボレート	ホウ素化合物（ホウ素として）	405	第1種指定化学物質

毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
テトラブチルアンモニウム＝テトラフルオロボレート	硼弗化水素酸及びその塩類	劇物
トリフェニルアンチモン	アンチモン化合物及びこれを含有する製剤。ただし、次に掲げるものを除く。イ　4-アセトキシフェニルジメチルスルホニウム＝ヘキサフルオロアンチモネート及びこれを含有する製剤、ロ　アンチモン酸ナトリウム及びこれを含有する製剤、ハ　酸化アンチモン(III)を含有する製剤、ニ　酸化アンチモン(V)及びこれを含有する製剤、ホ　四酸化二アンチモン及びこれを含有する製剤、ヘ　トリス(ジペンチルジチオカルバマト-κ(2)S,S')アンチモン5%以下を含有する製剤、ト　硫化アンチモン及びこれを含有する製剤	劇物

16. その他の情報

改訂情報
セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション１：所在地 情報修正.
セクション１：担当部門の電話番号 情報修正.

セクション１：担当部門名 情報修正.
セクション１：供給者名 情報修正.
セクション１：製品名 情報修正.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：色 情報修正.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：発がん性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション１５：毒物及び劇物取締法の表 情報の追加.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.
セクション１６：Webアドレス 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

ソルベンタムジャパンのSDSはSolventum.comから入手できます。